

December 2002



**秋の銀河いろいろ** : 秋の星座には春と同様多くの銀河があります。肉眼でも見えるアンドロメダ銀河から望遠鏡でもシミ程度にしか見えないものまで、実に様々です。

写真はうお座のM74(右上)、アンドロメダ座のNGC891(中)、ペガスス座のNGC7177(下左)、くじら座のM77(下右)

# 綺羅星・星座図鑑

## りょうけん座 (Canes Venatici)

大熊座と牛飼い座の間にある獵犬座は1690年にヘベリウスがつくった星座で、プトレマイオス(紀元前150年ころ)は大熊座の一部として扱っていました。

獵犬は星座絵で牛飼いが連れている2匹の犬ですが、牛飼いが獵犬を連れて熊を追う姿という不思議な組み合わせになっています。

この2匹の犬は北がアステリオン、南はカーラという名があり、カーラの方には星コル・カロリと星カーラという星があって見つけやすいのですが、アステリオンの方には目立つ星もなく、存在感がありません。コル・カロリは白い3等星と薄紫の5等星からなる二重星で、小型の望遠鏡でも見ることが出来ます。

北斗七星との境界近くにM51(子持ち銀河:650万光年)があります。双眼鏡でも小さなダルマのように見えますが、大きな望遠鏡では渦巻きになった姿が見えます。また、うしかい座との境界近くにはM3という球状星団があり望遠鏡で微光星がぎっしりと集まっているのが見えます。



## うしかい座 (Bootes)

うしかい座は紀元前150年ころプトレマイオスがつくった48星座の一つで、星座絵では2匹の獵犬(前記のりょうけん座)をつれている男の姿として描かれています。

うしかい座は割合大きな星座ですが、実はこの星座になっている人物がいったい誰なのかわかっていないのです。大熊をかりたてている息子のカリストであるとか、忠犬メーラの主人であるアテネ王イカリオスであるとか、二輪の戦車を発明したアテネの王エリクトニウスの姿だとか、いろいろな説がありますが、一般にはギリシャの巨神族の一人アトラスの姿とされています。

大神ゼウスが率いるオリンポスの神々が巨神族の地に侵入し、10年にわたって戦闘を続けました。しかし、巨神族は戦いに敗れ一族はそこなしのあなにとじこめられてしまいました。けれどアトラスだけはその巨体とおとなしい性格を見込まれ、天をかつぐ役目を与えられたのです。

アトラスはいつまでもこんなことをしているのが嫌になっていました。ある時メドゥサ退治に行く途中の勇士ペルセウスが居場所を聞くために立ち寄りました。アトラスは居場所を教えた後ペルセウスに「もしメドゥサの首が手に入ったらオレを石に変えてくれ」と頼みました。・・ペルセウスはメドゥサ

を退治した後、約束通りアトラスを石に変えたのです。アフリカにそびえるアトラス山脈は、アトラスの姿なのだそうです。

うしかい座は北斗七星の東側にあり、洋風のような形をしています。その中一番明るく見える星はアルクトゥルスで、36 光年と近くにあるため固有運動が大きく、毎年 2.3 秒という角度（1 秒は 1 度の 3600 分の 1）で南の方に移動していて、800 年間に満月 1 個分位置が変わり、プトレマイオスの時代から満月 2 個半移動したことになります。5 万年後にはおとめ座のスピカと並ぶことになります。

## カシオペヤ座 (Cassiopeia)



プトレマイオスがギリシャ神話を元につくった星座で、古代エチオピア王家にまつわる星座の一つです。“W”の形をしたカシオペヤ座は北斗七星とともに、北極星を探す星座として有名です。

カシオペヤはエチオピア王ケフェウス（ケフェウス座）の後で、二人にはアンドロメダ（アンドロメダ座）という美しい娘がいました。ある時、カシオペヤは娘の美しさを自慢するあまり「私の娘は海神ポセイドンのニンフ達よりも美しい」と口を滑らせてしまいました。それを聞いて怒ったポセイドンは、エチオピアの海岸に海魔ティアマト（くじら座）を放ち暴れさせました。困り果てた王と王妃はアンドロメダを生け贄として差し出すこととなり、海岸の岩場に鎖でつながれました。危うく喰われそうになった

ところを、メドゥサ退治から戻る途中のペルセウス（ペルセウス座）に助けられたのです。

こんなお騒がせのカシオペヤですから罪滅ぼしに、椅子に座らされたまま一日中空を回り続けているのだそうです。そう考えて星座を見渡してみると、秋の星座にはエチオピア王家にまつわる星座が多いことに気がつくでしょう。

カシオペヤ座は北斗七星とともに北極星を探す星として知られていますが、この“W”は天の川の中にどっぷりと浸かっているため、双眼鏡で眺めるとあちらこちらに星雲や星団を見つけることが出来ます。この“W”の5星のうち東側二つは3等星と4等星なので、都会の空では“V”しか見えないかも知れませんね。

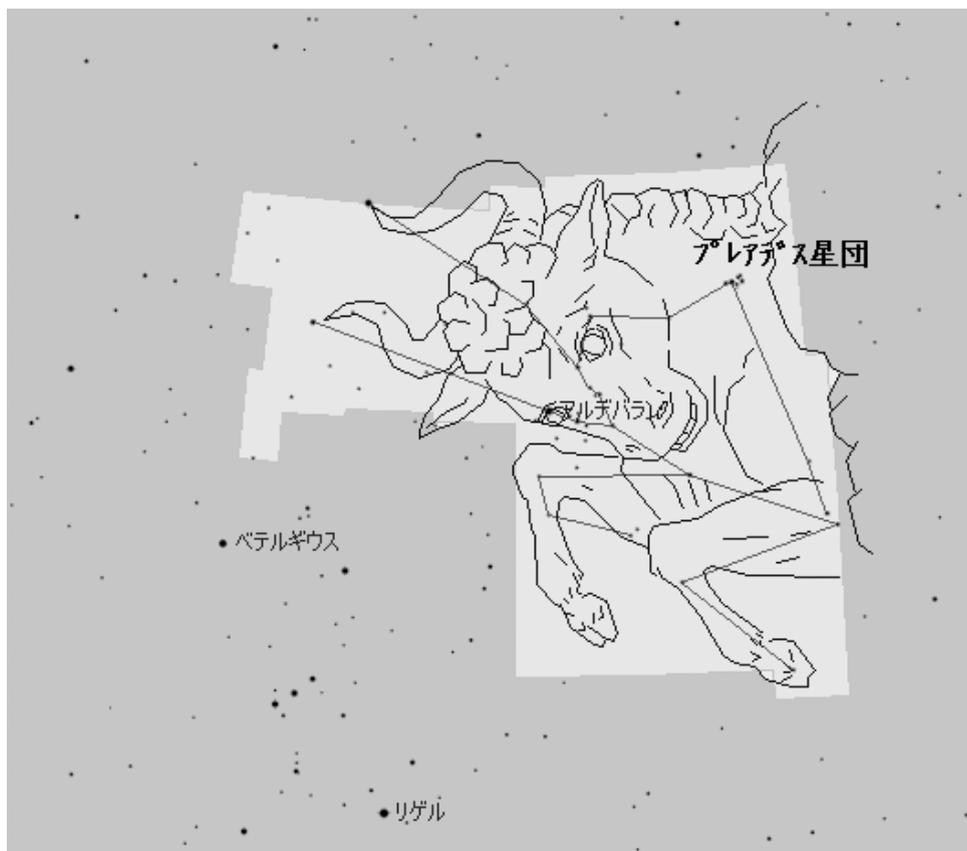
## おうし座 (Taurus)

誕生日の星座としておなじみの星座で、プトレマイオスがギリシャ神話を元にした 48 星座の一つです。

一般には大神ゼウスがエウローペをさらうために化けた白牛の姿とされていますが、別の神話では牛になった美しい娘イオの姿とされています。

イオは河の神イーナコスの娘で、ある日レルネの川縁で、ゼウスとイオが戯れていると、その様子を見ていたゼウスの后ヘーラが降りてきました。あわてたゼウスはイオを牛の姿に変えてしまいました。ヘーラはゼウスの傍らに立っている愛らしい牛を見るなり、怪しみむりやり連れて行きました。そして全身に目があり昼も夜も眠らない怪人アルゴスに見張りをさせたのです。父は変わり果てた娘を抱いて嘆きましたが、たちまちアルゴスに見つかり追い立てられてしまいました。ゼウスは苦しんでいるイオを哀れんで、羊飼いに

化けさせたヘルメスを送りアルゴスを退治させました。しかし、執念深いヘーラは一匹の大アブを放ち牛を追々回したので、逃げ回っているうちにエジプトまでたどり着きました。やがてイオはナイル川のほとりでエパフォスという子供を産んだのですが、しつこいヘーラはクレスら7人を差し向け赤ん坊をさらったのです。さすがのゼウスも怒りが頂点に達し、雷を投げつけ彼らを皆殺しにしました。のちにイオはエジプト王テレゴノスと結婚し、エパフォスは後を継いでエジプト王になりました。



おうし座の中心付近にはオレンジ色の1等星アルデバランがありますが、このあたりをよく見ると星がバラバラと散らばっているのがわかります。この星の集まりはヒヤデス星団といい牡牛の顔の部分になります。300個ほどの星の集団ですが、距離が140光年ほどと近いのでまばらに見えるのです。ヒヤデス星団の右上にはおなじみのM45(プレアデス星団)があります。日本では「すばる」としておなじみですが、120個ほどの星の集団で、肉眼でも6、7個の星が見えます。写真では青白いガスに包まれたように見えますが、最近の観測では星団とは直接関係ないらしいことがわかってきました。星団は誕生から5000万年ほどしか経っていない若い星で、高温で光っているため青白い色をしているのですが、このような星は寿命が短く、プレアデス星団は1億年ほどで寿命を終えるそうです。もう一つ、角の先にM1(かに星雲)があります。1054年に起こった超新星の残骸で、1848年にロス卿がかにに似ていると言ったことから「かに星雲」と名付けられました。日本人が見ると佐渡島の形を想像するでしょう。

「My Stars 通信」の天文図は **StellaNavigator6(ASCII/AstroArts)** を使用しています。

# 綺羅星列伝

皆様からお寄せいただいた星物語の一部をご紹介します。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

---

## 星の名前 : **Twinkling Kiyoshi**

---

私の一番大切な人、ずっと一緒にいたい人。  
一緒にずっと星を眺めていたい人、きよしはそんな人です。

冬の真夜中、初めて2人で眺めた星。オリオンにきよしの名前をつけました。

2人とも冬生まれ、誕生日は9日しか違いません。

冬の夜にずっと姿を見せてくれるオリオン座。

小さな子供でも見つけることができる星座です。  
一晩中、私を見守ってくれるその星座は、まるできよしのようなのです。

昨年秋の終わり、2人の間に芽生えた小さないのちが消えてしまいました。

その小さないのちに私がつけた名前は ” そら ”

きよしがつけた名前は ” ひかり ”

” そら ” の ” ひかり ”

きよしの星と一緒に、きっと一番輝く星になって、わたしたちを見守ってくれているのでしょうね。

星のプレゼント。クリスマス前の真夜中、2人で星を眺めた思い出の河川敷で渡しました。

本当に喜んでくれたあのときの幸せな気持ちは今もずっと忘れていません。

夏が来て、秋になって、オリオンが顔を見せてくれるのを楽しみに待っている2人です。

いつか初山別に行くのが今の2人の夢です。

けいこ

---

## 星の名前 : **Hideaki Terasaka**

---

1999年11月17日～18日未明のしし座流星群の到来と共に私達2人の時間が始まった。

あなたと何度同じ星空を見上げただろう。

2人でたくさんの流れ星を見たね。

同じ流れ星を見ることができたのは8月の天の川。

あなたとの時間が始まるきっかけとなったあの場所で。

でももう二度とあの場所には行けないね。  
一緒に見ることもできないね。

2000年10月14日。

あなたはお星様になってしまったから。

本当は認めたくない。

あなたはいつでも私の近くにいる。

そう信じていたい。

でも、あなたを感じる事ができない時がある。

それはあなたの姿が見えない寂しさ、声を聞くことのできない辛さ、  
未来が奪われてしまった悔しさに耐えきれなくなった時。  
そんな時、私は星空を見上げる。  
そして、この都会から見えるごくわずかな星に語りかける。  
それをあなただと思って。  
するとあなたの手のぬくもりを感じる事ができる。  
それに安心してまた涙が流れるけど。  
あなたがいなくなったこの現実、周りの環境。  
これらは時間と共に変化するけれど、星は違う。  
ほとんど変わらない。  
この現実には永遠なんてないかもしれない。  
でもこの星空には永遠という言葉があると信じて、2001年10月14日。  
あなたの星を作りました。  
竜座。

黄金のリングを最後まで守り続けた竜。  
あなたも最後まで「自分の事より人の事」  
みんなを守ってたよね。  
ありがとう。  
あなたの星ができた時、一番最初に思った事。  
「あなたの星の隣にいる星がうらやましい。」  
でも今は違う。  
隣なんて嫌。  
私はあなたの星の住人になりたい。  
そうすればあなたに触れていられる、あなたを感じる事ができる、あなたとずっと一緒にいられる。  
もうこれ以上離れたくないから。  
永遠に輝き続けてほしい。  
永遠に見守っていてほしい。  
私があなたの元へ行く、その日まで。  
“ Hideaki Terasaka ” 星様へ。  
永遠の恋人 なおより。

---

## 星の名前 : **Nao & Mei**

---

これは2001年のクリスマスに、なおが私に贈ってくれたものです。つきあって2度目のクリスマス。なおとは2000年4月に知り合いました。会社の同期です。

研修中の席が前後だったにもかかわらず、ほとんど話したことのなかった2人だったけど、バーベキューに参加したことがきっかけで、つきあうようになりました。

なおは旅行好きなので、この1年半で、北海道から九州いろんな所に行きました。お互い何でも話しすぎて空気のような存在。去年はけんかしす

ぎて大きな危機をむかえたこともあったけど、それをのりこえてからは、お互いにお互いの必要さを再認識しました。私が落ち込んだときは、いつも話を聞いて、励ますためになかなか取れないユーフォーキャッチャーがんばってくれたり・・・。  
ときどき小さなけんかをすることもあるけど、すぐ仲直りします。これからも、いろんなことがあると想うけど、ずっと一緒にがんばっていきましょうね。  
仕事とかでつらいことがあったら何でも話してね。私たちの星**Nao & Mei**がいつまでも私たちを見守ってくれると思います。

---

星の名前 : **AKITO.2001.12.02**

---

2001年12月2日

大切な息子を亡くしました。  
残された家族(3人)悲しくて、悲しくて毎日、  
泣いて時間を過ごしていました。そんな時息子の  
友達が初山別の“星”の話をもってきてくれました。  
星になって息子をよみがえらせてくれるという、  
悲しいなかにも希望のようなものがもてました。  
夫も息子はいなくなったのではなくて、空で  
旅行をしているのだと思うことにしようと話し  
てくれました。  
空を見上げると息子がいると思うと、悲しいけれ  
ど、いつか会えるし見ていてくれると思うと、少  
しだけ悲しみもやわらぐような、落ちついたよう

な気持ちになりつつあります。

息子のことは忘れることは絶対ありませんが、  
心の中にそっとしまっただけ大切に生きてゆこうと  
思います。

いつか家族で必ず初山別に息子の星  
AKITO.2001.12.2 カシオペア座に会いにゆきま  
す。  
そして中橋さん、河野君、牛村君、彰人の大切な  
お友達ありがとう  
みんな元気でがんばろうね!!

彰人の家族より

---

星の名前 : **Star of TERAPON**

---

私は2000年春にこの星を所有することになり  
ました。その名もStar of TERAPON。  
春に大学時代の友人と集まることになり、そのう  
ちの1人が誕生日には早いけどと、それぞれに星  
のプレゼントをしてくれたのです。自分の名前  
のついた星が存在するなんて驚きと感動でした。  
大学時代うれしいことも、辛いこともわかって  
きた仲間でしたが、卒業後は香川県、和歌山  
県、大阪府、京都府とそれぞればらばらになっ  
てしまい、なかなか4人揃うことがなく、このひも  
1年ぶりぐらいの再会だったのです。オリオン座

をとおしてきつく、強い絆をその友人はプレゼン  
トしてくれたのです。これから辛いことや悲しい  
こと、はたまたうれしいことがあった時は、空を  
見上げ一人じゃないんだと、みんながんばってい  
るんだとはげましてくれと思います。

もちろんプレゼントしてくれた子にも星のお  
かえしをクリスマスプレゼントにするつもりで  
す。1年後か何10年後になるかわかりませんが、  
4人揃って必ず初山別を訪れます。

Thanks forever friends!!

# こちら情報室

## 天文情報

**ふたご座流星群**：12月13日を中心に1週間ほど見られる流星群で、ほぼ一晩中流れます。今年は上弦過ぎの月があるので、夜中過ぎの方が観測条件はいいです。ピークの夜は1時間あたり50個程度見られますが、それ以外は少ないでしょう。

1月4日のりゅう座流星群は月明かりもなく最高の条件です。この群は3日の夜中から4日の太陽が出るまでの時間以外ほとんど見られませんが、多いときには1時間あたり100個を越えることもあります。

**惑星**：この冬は惑星シーズンの始まりです。このごろ惑星が見えないなあ・・・なんて感じていませんか。

**金星**は夏の間ずっと見えていましたが、10月30日に地球と太陽の間に入って見えなくなっていました。11月から2003年の7月ころまで明け方の東の空にみえます。

**火星**は2003年8月31日に大接近となりますが、まだ観望には適しません。見かけの大きさが10秒を超えるのが5月8日、20秒を超えるのは7月22日です。見やすくなるのは6月からでしょう。ちなみに木星の見かけの大きさは45秒くらいですから、7月下旬からは木星の半分くらいの大きさに見えることになります。

**木星**は2003年2月2日に地球に接近し7月まで見る事が出来ます。木星の衛星は明るいので双眼鏡でも見えます。今年の木星はほぼ真横から見える位置にあるため、衛星同士の食が頻繁に見られます。衛星同士の食というのは手前の衛星が奥の衛星を隠したり、衛星の上に影を落としたりするもので、珍しいことですから大きな望遠鏡で見てください。

**土星**は12月18日に地球に接近し2003年5月末まで見られます。今年の土星は環の傾きが最大になっていて明るいので、衛星はちょっと見づらいますが、環の中にある細い隙間が見やすくなっています。

### [連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

登録番号6000番までの方は16号をもって「MyStars通信」の郵送を終了します。なおすでに継続の連絡を頂いている方には引き続き郵送いたします。今後も郵送を希望される方は連絡下さい。なお、通信は初山別村のホームページでも見ることができます。

### [編集後記]

2002年10月末現在の登録者数は6172名です。

今年の夏はすっかり悪天候に悩まされました。7月の台風6号以来、北海道南部に前線が居座ったため曇りや雨の日が多く、夏休み中も晴れた日は少なかったです。見に来られた方も大勢いましたが、何も見られずに帰られた方も多く、全くなんと言って良いのやら。また今年も昨年同様大量の蛾が発生しました。これは昨年産み付けられた卵がふ化したため、春に薬剤散布したのですが、生き残った幼虫が羽化してしまい大発生となったのです。この秋口に卵の撤去が行われたため、来年は大発生にはならないと思うのですが・・・

編集・発行 初山別村教育委員会社会教育係 〒078-4421 北海道苫前郡初山別村字初山別 155-1

初山別村ホームページ URL=<http://hokkai.or.jp/shosanbe/>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp